特集 奥州こおり宿楽市楽座with盆フェス 老若男女問わず踊る夜

今年のメインは盆踊り

「奥州こおり宿楽市楽座with盆フェス」が8月29日、役場敷地内で開かれました。当日はあいにくの空模様でしたが、約8、500人がさまざまな出店やステージ、盆踊りを楽しみました。

奥州・羽州街道の分岐点「追分」として栄えた桑折宿の再現をテーマに開催される楽市楽座。今年のメインは盆踊り。町内3つの盆踊り団体による「地域伝統盆踊り」に加え、流行りの楽曲などにあわせて踊る「シンカ型BON踊り」を軸に、会場を盛り上げる様々なアーティストや、宮城・山形を代表する伝統芸能、各地のご当地グルメが集結しました。

多彩なオープニングステージ

雨が降る中、役場駐車場に設置した櫓（やぐら）ステージで、総合司会に向かえた、テレビ番組でおなじみの野村浩二さんと大久保薫子さん（福島テレビアナウンサー）による開幕宣言で盆フェスが始まりました。

オープニングステージの最初を飾るのは「DEFROCK」さん、「anna calla」さん、「kainatsu」さんら、音楽アーティストによるライブパフォーマンス。

続けて、仙台の伝統芸能である「すずめ踊り」を聖和学園高等学校（仙台市）の「聖和学園雀組」が、山形の伝統芸能である「花笠踊り」を「山形大学花笠サークル四面楚歌」がそれぞれ披露。観客は宮城・山形を代表する華やかな伝統芸能に魅了されました。

ライブステージの最後を飾るのは、人気ものまねタレントの「たむたむ&沙羅」による爆笑エンタメステージ。多彩なものまねや、ステージを降りてのパフォーマンスなど、会場を大いに盛り上げました。

1

2

3

4

5

6

1_役場駐車場に設けられた櫓ステージ　2_盆フェススタートを宣言するMCの2人　3_福島市・飯坂温泉を拠点に活動するHIPHOPクルーのDEFROCKさん　4_二本松市出身のシンガーソングライターのanna callaさん　5_「物置のピアノ」でおなじみのkainatsuさん　6・7_多彩なものまねで会場を盛り上げてくれたたむたむ＆沙羅　8・9_すずめの様に舞い踊る見事なすずめ踊りを披露した聖和学園雀組の皆さん　10・11・12_圧巻の笠回しを披露してくれた山形大学花笠サークル四面楚歌の皆さん

8

10

7

9

11

12

13

14

15

16

17

盆踊りスタート！

夕暮れを迎えた17時40分、桑折町消防団ラッパ隊によるファンファーレでオープニングセレモニーが始まりました。主催者である髙橋宣博町長の挨拶をはじめ、来賓の皆さまの挨拶や紹介を行い、いよいよ盆踊りが始まります。

町長の拍子木を合図に、まずは「地域伝統盆踊り」からスタート。町内の盆踊り団体「松原ふるさと豊年盆踊り」「大字谷地青年部」「追分町内会盆踊り」主導のもと、櫓を中心に参加者は思い思いに盆踊りを楽しんでいました。続けて「桑折町観光大使ホタピー」が登場。「ホタピーチピチ♪」の音頭に合わせてお尻をフリフリと振る「ホタピー音頭」を参加者たちと一緒に踊りました。そして最後は「シンカ型BON踊り」。誰もが一度は耳にしたことがある流行りの曲をメインに、スポットライトで照らされた櫓を中心に参加者は楽しそうに踊り、会場は大いに沸き立ちました。

また、会場には各地のご当地グルメや学生ボランティアの皆さんが企画した体験ブース、縁日出店など計52店舗が立ち並び、会場内は大にぎわい。人やモノの交流が盛んであった桑折宿の再現と地域伝統の盆踊り、そこから〝シンカ〟をした新たなBON踊りによる饗宴は、多くの人に支えられながら盛会裏に幕を閉じました。

13_桑折町消防団ラッパ隊によるファンファーレ　14_主催者として挨拶をする髙橋町長　15_多くの人でにぎわう会場　16_ホタピーと一緒に記念にパシャリ　17_最後まで盆フェスを盛り上げてくれた総合司会の2人と町長で記念撮影

お楽しみ大抽選会

盆踊りを一生懸命に踊っている方や、浴衣・仮装・コスプレで参加した方が参加できる大抽選会もあわせて実施。多くの企業・団体から協賛いただいた豪華景品を狙って、皆さん真剣にくじを引いていました。

子ども向け企画

盆踊りに参加した小学生以下の子どもにお菓子のプレゼントを行い、多くの子どもたちが受け取りに来ました。また、一般財団法人「CARNIVALWORKS」に所属する学生たちによる「桃」にちなんだ縁日コーナーも企画。「桃射的」など、たくさんの魅力的な屋台で子どもたちを出迎えました。